

2 費目別指数の動き

2-1 食料

食料は101.1となり、前年に比べ1.1%の上昇となった。

上昇した項目で代表的なものは、果物（5.2%）、穀類（3.9%）、菓子類（2.3%）であった。

一方、下落した項目は、油脂・調味料（-2.0%）、乳卵類（-1.1%）、野菜・海藻類（-1.0%）であった。

生鮮食品では、生鮮野菜（-2.0%）が下落したが、生鮮魚介（3.0%）及び生鮮果物（5.9%）の上昇により、生鮮食品全体では1.5%の上昇となった。

図7 食料指数の月別の動き

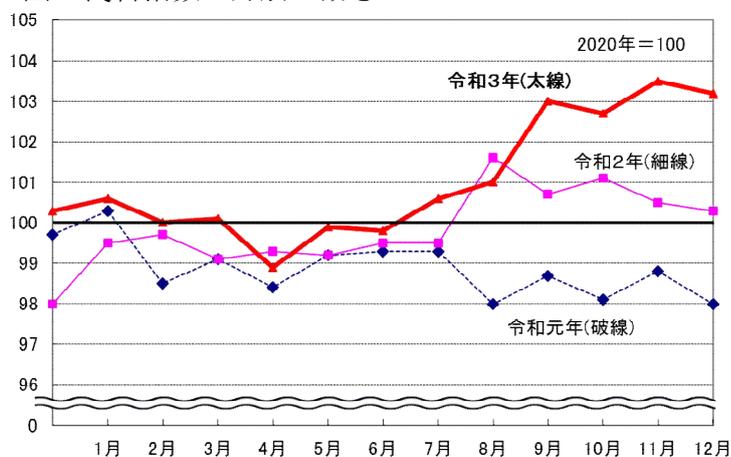


図8 生鮮食品指数の月別の動き

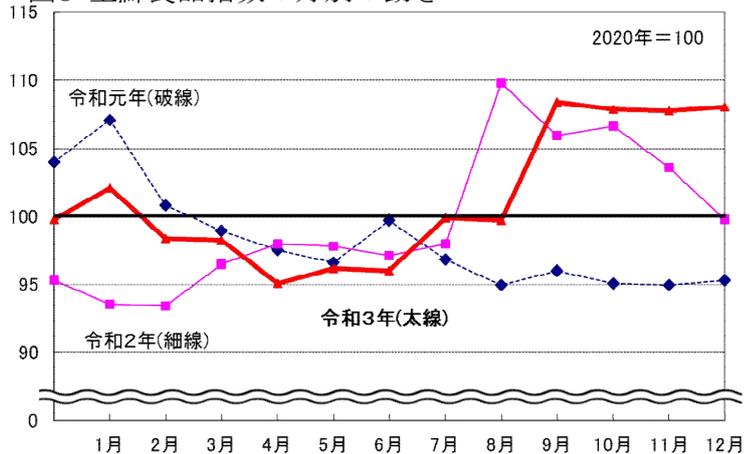


表4 食料の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
食料	-0.1	1.2	1.1
穀類	1.1	-0.9	3.9
魚介類	-2.7	-1.0	1.9
肉類	0.7	2.2	1.8
乳卵類	4.1	-1.5	-1.1
野菜・海藻	-7.2	5.6	-1.0
果物	2.8	5.3	5.2
油脂・調味料	1.1	-0.9	-2.0
菓子類	2.0	-0.3	2.3
調理食品	1.2	1.8	0.5
飲料	1.3	-1.6	1.6
酒類	-1.4	1.9	1.9
外食	1.1	1.7	0.0
生鮮食品	-7.1	2.2	1.5
生鮮魚介	-6.1	-4.3	3.0
生鮮野菜	-12.9	6.5	-2.0
生鮮果物	2.5	5.7	5.9

図9 生鮮魚介指数の月別の動き

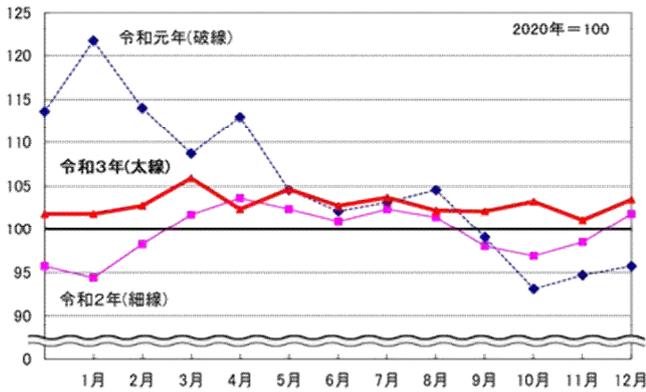


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

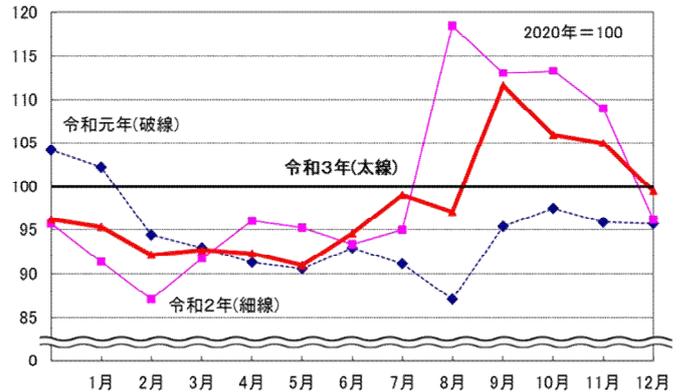
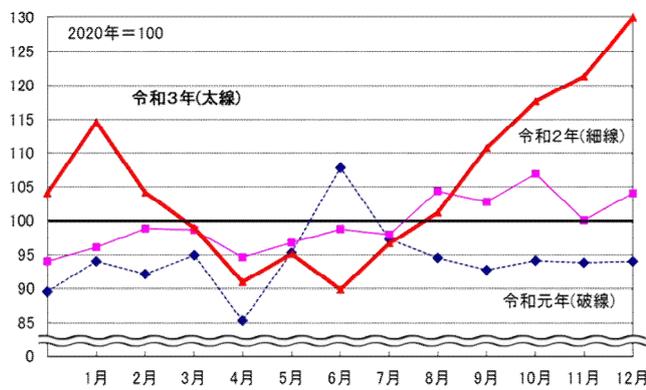


図11 生鮮果物指数の月別の動き



2-2 住居

住居は99.8となり、前年に比べ0.2%の下落となった。
 上昇した項目は、設備修繕・維持（3.1%）であった。
 一方、下落した項目は家賃（-0.8%）であった。

図12 住居指数の月別の動き

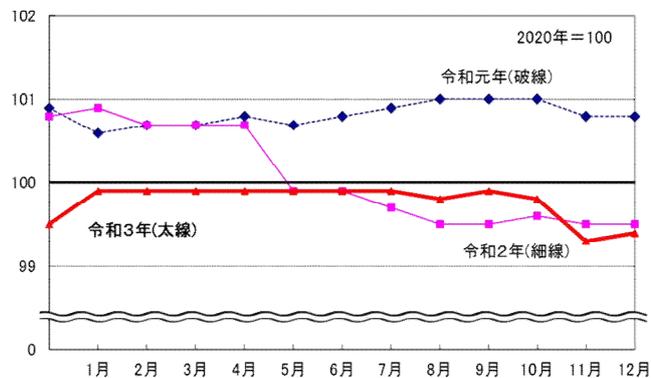


表5 住居の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
住居	-1.4	-0.8	-0.2
家賃	-1.8	-1.2	-0.8
設備修繕・維持	0.4	0.8	3.1
持家の帰属家賃を除く住居	-0.1	-0.3	1.4
持家の帰属家賃を除く家賃	-0.9	-1.8	-1.4

2-3 光熱・水道

光熱・水道は99.8となり、前年に比べ0.2%の下落となった。

上昇した項目は、他の光熱（10.0%）であった。

一方、下落した項目は、ガス代（-1.3%）、電気代（-0.4%）であった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

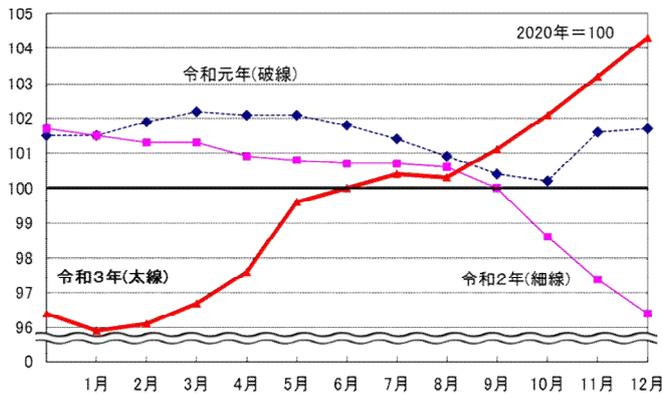


表6 光熱・水道の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
光熱・水道	0.7	-1.5	-0.2
電気代	0.6	-2.2	-0.4
ガス代	2.0	-1.5	-1.3
他の光熱	-0.6	-4.2	10.0
上下水道料	0.3	1.5	0.0

2-4 家具・家事用品

家具・家事用品は102.5となり、前年に比べ2.5%の上昇となった。

上昇した項目は、家庭用耐久財（4.5%）、寝具類（2.0%）、家事雑貨（2.0%）、家事用消耗品（2.0%）、室内装備品（1.6%）であった。

図14 家具・家事用品指数の月別の動き

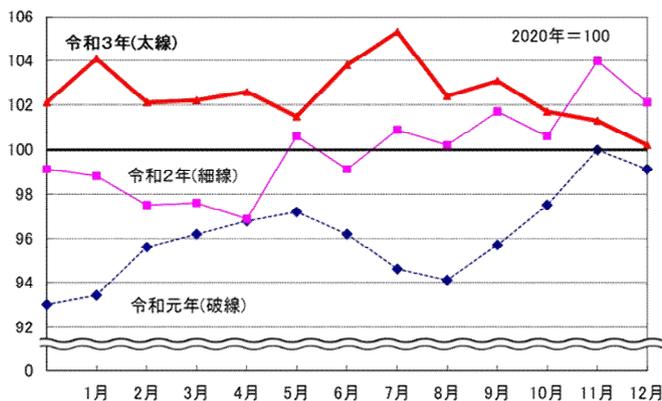


表7 家事・家具用品の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
家具・家事用品	2.0	3.8	2.5
家庭用耐久財	5.0	1.9	4.5
室内装備品	-5.4	-5.6	1.6
寝具類	1.1	4.7	2.0
家事雑貨	0.2	7.7	2.0
家事用消耗品	3.4	5.6	2.0
家事サービス	0.5	1.4	0.0

2-5 被服及び履物

被服及び履物は100.8となり、前年に比べ0.8%の上昇となった。

上昇した項目は、被服関連サービス（2.7%）、シャツ・セーター・下着類（2.1%）、衣料（1.1%）、他の被服類（0.8%）であった。

一方、下落した項目は、履物類（-3.9%）であった。

なお、衣料のうちでは和服（-4.5%）が下落し、洋服（1.1%）が上昇した。

また、シャツ・セーター・下着類のうちではシャツ・セーター類（2.9%）、下着類（0.4%）が共に上昇した。

図15 被服及び履物指数の月別の動き

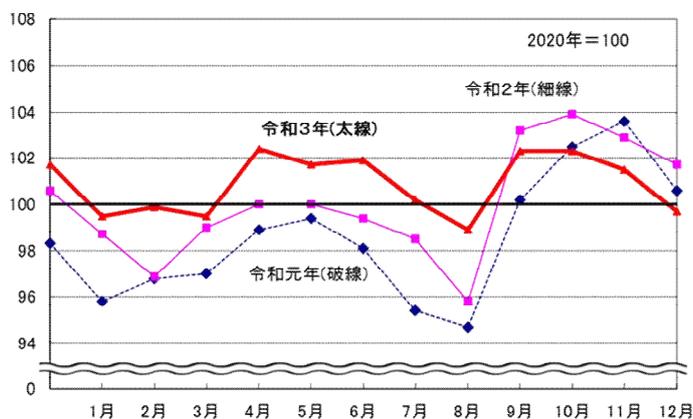


表8 被服及び履物の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
被服及び履物	-0.2	1.4	0.8
衣料	-3.1	2.3	1.1
和服	5.4	14.5	-4.5
洋服	-3.6	1.5	1.1
シャツ・セーター・下着類	4.2	0.4	2.1
シャツ・セーター類	4.3	1.0	2.9
下着類	4.0	-1.0	0.4
履物類	1.1	3.5	-3.9
他の被服類	-2.9	-4.7	0.8
被服関連サービス	0.5	3.0	2.7

2-6 保健医療

保健医療は98.3となり、前年に比べ1.7%の下落となった。

下落した項目は、保健医療用品・器具（-6.8%）、保健医療サービス（-0.8%）、医薬品・健康保持用摂取品（-0.4%）であった。

図16 保健医療指数の月別の動き

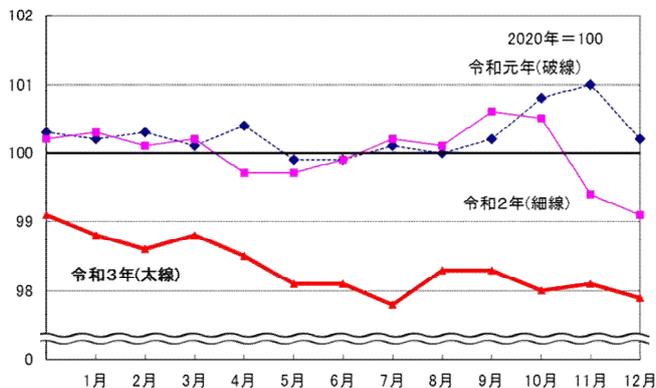


表9 保健医療の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
保健医療	0.4	-0.3	-1.7
医薬品・健康保持用摂取品	-0.7	1.4	-0.4
保健医療用品・器具	-0.6	-3.0	-6.8
保健医療サービス	1.1	-0.1	-0.8

2-7 交通・通信

交通・通信は93.6となり、前年に比べ6.4%の下落となった。

上昇した項目は、自動車等関係費（2.0%）、交通（0.5%）であった。

一方、下落した項目は、通信（-21.9%）であった。

なお、通信料の大幅な下落には、4月から行われた携帯電話通信料の価格改定が大きく影響した。

図17 交通・通信指数の月別の動き

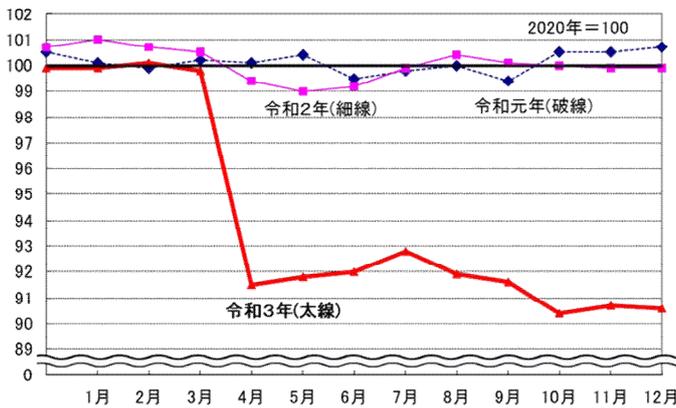


表10 交通・通信の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
交通・通信	-0.8	-0.1	-6.4
交通	0.6	2.4	0.5
自動車等関係費	-0.3	-0.6	2.0
通信	-3.2	0.2	-21.9

2-8 教育

教育は100.2となり、前年に比べ0.2%の上昇となった。

上昇した項目は、補習教育（3.5%）、教科書・学習参考教材（0.2%）であった。

一方、下落した項目は、授業料等（-1.3%）であった。

図18 教育指数の月別の動き

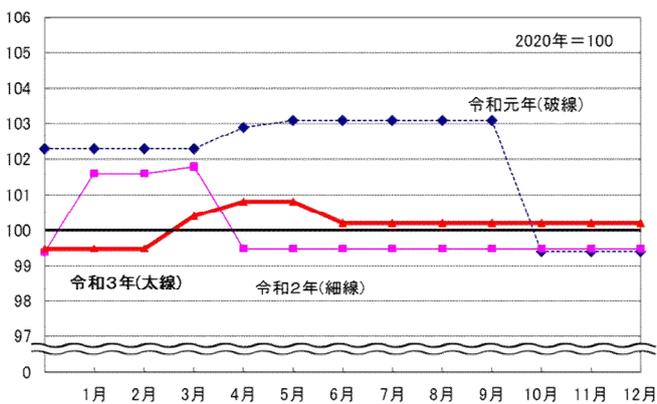


表11 教育の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
教育	0.4	-1.9	0.2
授業料等	-0.8	-4.4	-1.3
教科書・学習参考教材	0.3	1.3	0.2
補習教育	2.6	2.9	3.5

2-9 教養娯楽

教養娯楽は102.1となり、2.1%の上昇となった。

上昇した項目は、教養娯楽用品（2.6%）、教養娯楽サービス（2.5%）、書籍・他の印刷物（1.8%）であった。

一方、下落した項目は、教養娯楽用耐久財（-2.5%）であった。

図19 教養娯楽指数の月別の動き

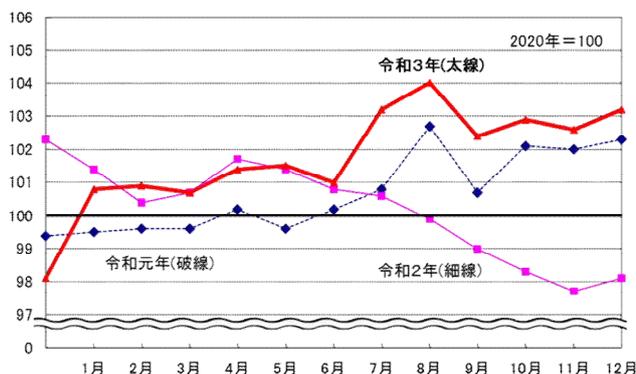


表12 教養娯楽の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
教養娯楽	1.2	-0.8	2.1
教養娯楽用耐久財	-0.7	0.9	-2.5
教養娯楽用品	0.2	0.1	2.6
書籍・他の印刷物	3.4	0.6	1.8
教養娯楽サービス	1.2	-1.6	2.5

2-10 諸雑費

諸雑費は100.9となり、前年に比べ0.9%の上昇となった。

上昇した項目は、たばこ（8.5%）、他の諸雑費（1.6%）、理美容サービス（0.1%）であった。

一方、下落した項目は、身の回り用品（-2.3%）、理美容用品（-0.3%）であった。

図20 諸雑費指数の月別の動き

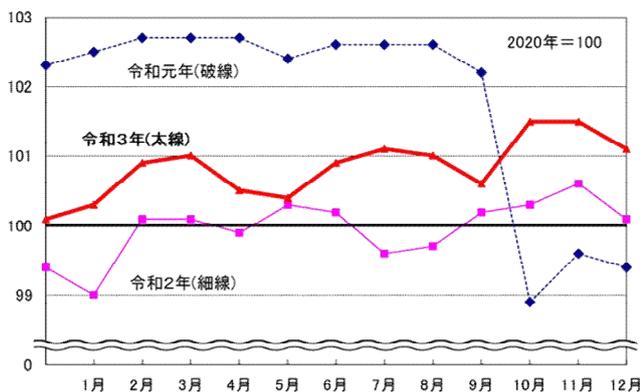


表13 諸雑費の中分類別前年比の動き

項目	元年	2年	3年
諸雑費	0.3	-1.7	0.9
理美容サービス	0.7	1.9	0.1
理美容用品	-1.4	1.2	-0.3
身の回り用品	6.8	-0.3	-2.3
たばこ	6.4	3.7	8.5
他の諸雑費	-1.8	-7.3	1.6